

ラブの皆さんが、高田ロータリークラブの夜例会に訪れるので、「一緒に参加しては」とのお誘いがありました。これまた初めて知ったのですが、名古屋東ロータリークラブの皆さんが中心となり 2760 地区の方々が被災高校生支援事業として、奨学金制度を立ち上げ、二戸ロータリークラブを通じ、2012年4月から2016年3月まで、延べ34人の高校生に対し(月3万円返還不要)支援をしてくださったそうです。地域の学生(大船渡高校、高田高校)もお世話になっておりました。西クラブもサポートクラブだったとのこと、私の勉強不足でした。驚くことに希望の風奨学金制度にも、いまだに2760地区の多くの方々が支援を下さっています。本当に頭が下がります。

当時、発起人だった千田(せんだ)パストガバナーともお話ができ、その人柄とロータリー精神に感銘を受けると共に、名古屋東ロータリークラブの皆さんと親睦を図れたことに心より感謝したいと思います。会員数が100名近くいるとのこと、皆さん(名古屋出身の山口会員同様)優しくてフレンドリーな方々で、別れが惜しくなるほどでした。まさにそれでこそロータリーの歌詞のようでした。お礼状がメールにて届いておりますのでそちらも七福神に掲載させていただきます。

このような出会いもロータリアンであったからこそ経験できたこと、入会させていただいた皆様にも感謝申し上げます。

さらに、閉会点鐘を鳴らすのを忘れて、そうかと思えば勢い余って開会点鐘を2度も鳴らす、こんな私を会長にして下さり本当にありがたいと思います。紀室年度始まってまだ3か月ですが、これからもお支え下さいますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

● 「END PORIO NOW」Tシャツの斡旋販売の連絡

1枚2,000円 (赤にロータリーマークとEND PORIO NOWロゴ入り)

売上の一部を世界ポリオデーに寄付

締切 10月20日 希望者は事務局まで

● RI財団管理委員長からのお願いとして

モロッコ地震への支援協力要請メールが届いています。

地区として5,000ドルを拠出、各クラブでも検討願いますとの事

2 若柳ロータリークラブより 創立30周年記念祝賀会の案内が届いています。

日時 11月18日(土)16時～ 場所 割烹 千鳥 会費 10,000円 締切 10月18日

3 みんなのしるし合同会社より

10月7日・8日に開催される「三陸芸能大発見サミット」開催に伴うボランティア協力のお願いが届いています。

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 野球部員 谷地保会員



野球部員と応援団17名は、明日(29日)から、山形で開催される「全国RC野球大会東北地区親睦野球大会」へ行ってきます。健闘をお祈りください。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

難聴の種類・認知症と難聴の関係

★ (株)愛ネット補聴器 岡本知之様 (認定補聴器技能士) 講話



パンフレット等を参考にしながらお話して頂きました。

難聴の種類

感音性難聴 伝音性難聴 混合性難聴

加齢性難聴：寿命が延びているため多くなっている

騒音性難聴 先天性難聴 薬物性難聴：現在は少ない

65歳以上の1/3人が難聴でありながら何も対処せず過ごしている。

難聴の危険因子 喫煙 高血圧 循環器系疾患 糖尿病

生活習慣病に起因する危険因子が多く、規則正しい生活で難聴予防に心がけましょう。

難聴は、認知症の危険因子

難聴→人とのかかわりが少なくなる→認知症 加齢難聴は気づきにくい

日本の高齢者4人に1人が認知症、またはその予備軍

2025年には認知症患者が700万人を超える予想

難聴の自己診断法 親指と人差し指をこすり合わせる音が聞こえるかどうか。

耳の傍と、手を伸ばしてこすり合わせた時の音の確認

モスキート音 20代後半から聞こえないことも 難聴は高い音から聞こえなくなる

健康診断の聞こえの診断では不足 耳鼻科で7項目を診断

補聴器： 管理医療機器 耳鼻科を受診し、補聴器屋で購入

補聴器を使用するという事は、言語をはじめから覚えるという訓練が必要

3~6か月のトレーニングが必要となるため、早めの使用を・・・

※ 名古屋東RC様からお礼状が届きました。



Rotary
名古屋東ロータリークラブ

事務局 460-0003 名古屋市中区錦3丁目14番25号 アサヒビル6階
Tel 052-971-8686 Fax 052-971-8855 e-mail rc.njgo@rotaryclub.jp
国際ロータリー第2760地区 名古屋東分區

2023年9月11日

RI 第2520地区

大船渡西ロータリークラブ

バスタガバナー 濱守 豊秋 様

会長 紀室 綾子 様

RI 第2760地区

名古屋東ロータリークラブ

バスタガバナー 千田 毅

元被災高校生支援委員長 本多 満

被災高校生支援事業・交流会のお礼

被災高校生支援事業・交流会では大変お世話になりました。本来であればお一人お一人にお会いしてお礼を申し上げなければなりません、書面にてお礼を申し上げます。

10年前に2地区の小野寺ガバナー、千田ガバナーが協力して被災高校生に3年にわたる支援事業を行いました。今回事業の締めくくりとして、両地区の交流会を開催いたしました。岩手各RCの皆様には大変お世話になりました。

3日間の日程は花巻の宮沢記念館、大船渡風向地視察、陸前高田例会、平泉観光、二戸での交流会、ゴルフ会、盛りだくさんの行事と懇親を深めることができました。

現在では奨学生それぞれの方が各地で社会人になられ活躍されています。その一例として陸前高田RCの例会で村上さんが卓話をされました。卓話は被災した時の状況から始まり、大学院を卒業後地元に戻り、地域の活性化に貢献しようという日々努力をされているお話でした。

この事例は事業に携わったRC会員だけでなく、事業の内容を初めて知った会員も大変感動しました。この事業の目的を、このような形で若い人たちが活躍することを目の当たりにして、本当に報われたと思います。とても良い交流会になったと思います。また地元のRCメンバーとの懇親も深められ、楽しいひと時でした。あらためてお礼申し上げます。

今後も機会があれば、またお会いできることを楽しみにしております。

簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。